

2025.3.31

「海・空・子どもプロジェクト」

2024 年度 日本財団 海と日本プロジェクト

【報告書】

事業名：病弱児童・生徒の海洋教育協働探究カリキュラ

ム開発プロジェクト（海と日本 2024）

事業期間：2024.4.1 - 2025.3.31

団体名：海・空・子どもプロジェクト実行委員会



海・空・子どもプロジェクト実行委員会

【宮古島を知ろう1】を開催しました！

2024年6月10(月) 【場所】埼玉県立越谷特別支援学校

海・空・子どもプロジェクト実行委員会は、埼玉県立越谷特別支援学校中学部の生徒を対象として、2024年6月10日（月）総合的な学習の時間の授業の一環として、自分たちとは異なる場所について学ぶことを目的として、宮古島について学ぶ授業を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。

イベント概要

・開催概要

宮古島に住んでいる人とオンライン会議システムを使ってつながり、社会（歴史、文化、生活など）を学ぶ

・日程

2024年6月10日（月）

・開催場所

埼玉県立越谷特別支援学校（〒343-0003 埼玉県越谷市船渡 500）

・参加人数

18名



宮古島はどこにあるの？

越谷特別支援学校の子どもたちは、肢体に不自由があることで、行動に制限があります。昨年度、越谷特別支援学校中学部では、沖縄県の文化などについて調べ、文化祭で発表を行いました。今年度は、沖縄県の離島の一つである宮古島を巡るコースをつくるとともに、バリアフリーについて提案を行います。本実行委員会では、コースを巡る授業を越谷特別支援学校中学部の先生たちとともに授業づくりを行なっていきます。

まずは、これからコースを作成する宮古島を知るための授業を4回に分けて実施しました。まず

は、本実行委員会の福島昌子氏から、今回の宮古島を巡るコースの授業に関する進め方などについての説明や、宮古島の場所や環境などをお話していただきました。

宮古島の歴史や文化について学ぶ

オンライン会議システムを使って、宮古島在住の沖縄こどもみらい創造支援機構理事長 新城宗史氏から宮古島の社会についてお話を聞かせていただきました。はじめに宮古島の食文化についてお話をしていただきました。宮古島では「まんじゅう」というと「パイパイ」、「ハム」というと「スパム」というそうで、同じ言葉でも場所によって意味が異なることをお話していただきました。続いて、地質学や民俗学など多面的な視点から宮古島がどのようにできたのかをお話してくださいました。宮古島は琉球石灰岩からできており、採掘された石灰岩は、大理石として、国会議事堂の内装に使われているそうです。

参加した子どもからの声

初めての授業だったため、子どもたちは緊張している様子でしたが、新城氏から生活と密着した話題を取り入れながらお話をしていただいたことで、興味をもって話を聞くことができました。

【宮古島を知ろう2】を開催しました！

2024年6月17(月) 【場所】埼玉県立越谷特別支援学校

イベント概要

・開催概要

宮古島に住んでいる人とオンライン会議システムを使ってつながり、宮古島で働くということや宿泊施設

設のバリアフリーを学ぶ。また、宮古島内のバリアフリーについて学ぶ

・日程 2024年6月17日(月)

・開催場所

埼玉県立越谷特別支援学校（〒343-0003 埼玉県越谷市船渡 500）

・参加人数

18名

宿泊施設のバリアフリー

越谷特別支援学校の子どもたちは、肢体に不自由があることで、行動に制限があります。昨年度、越谷特別支援学校中学部では、沖縄県の文化などについて調べ、文化祭で発表を行いました。今年度は、沖縄県の離島の一つである宮古島を巡るコースをつくるとともに、バリアフリーについて提案を行います。本実行委員会では、コースを巡る授業を越谷特別支援学校中学部の先生たちとともに授業づくりを行なっていきます。



2回目となる今回は、兵庫県から宮古島に移住し、現在ホテルローカスにご勤務されている山本直志氏とオンライン会議システムでつなぎ、島で働くことについてお話をいただきました。山本氏からは、宮古島では、ホテル同士で協力をするなど人とのつながりが大きいこと、宅配サービスの商品が届くまで1ヶ月ほどかかるため不便であることなど本州とは異なる点を挙げられました。その後、勤務されているホテルについて紹介をいただくとともに、バリアフリーのお部屋を実際にみせていただき、他の一般客室と異なる点をお話いただきました。

子どもたちからは、バリアフリーの部屋がどれくらいあるのか、1年あたりどれくらい使用されているのかなどの質問があり、山本氏が丁寧に答えてくださいました。

宮古島のバリアフリー

第1回にもお話をいただいた沖縄こどもみらい創造支援機構理事長 新城宗史氏から、宮古島のバリアフリーについてお話をいただきました。まずは、現在勤務されている子育て支援センターや島の中を走っているバスなどバリアフリーをうたっているものでも、使用する人の視点に立っていないため、実際にはしようすることが難しいことをお話してくださいました。また、以前教育委員会で勤務をされていたとき、文化財の説明を、海外から観光に来た人や子どもたちの視点にたって、多くの言語を使ったり、ルビをふるなどわかりやすくするための工夫をしてきたことや、自然をまもりつつバリアをもった人が観光できるように工夫をしてきたことをお話してくださいました。

参加した子どもからの声

ホテルのお話では、ホテルのコンセプトムービーを上演してもらいました。子どもたちは、これまで見たことのない景色に感動していました。

宮古島のバリアフリーでは、実際の施設などを使いながらお話をしていただいたことで、宮古島の現状について前回よりもさらに身近に感じることができたようです。

海・空・子どもプロジェクト実行委員会

【宮古島を知ろう3】を開催しました！

2024年6月24(月) 【場所】埼玉県立越谷特別支援学校

イベント概要

・開催概要

海上保安庁第十一管区海上保安部宮古島海上保安部とオンライン会議システムを使ってつながり、宮古島の海の安全・保全を学ぶ。

・日程

2024年6月24日(月)

・開催場所

埼玉県立越谷特別支援学校

(〒343-0003 埼玉県越谷市船渡 500)

・参加人数

18名



海上の警察や消防の役割を担う海上保安庁

越谷特別支援学校の子どもたちは、肢体に不自由があることで、行動に制限があります。昨年度、越谷特別支援学校中学部では、沖縄県の文化などについて調べ、文化祭で発表を行いました。今年度は、沖縄県の離島の一つである宮古島を巡るコースをつくるとともに、バリアフリーについて提案を行います。本実行委員会では、コースを巡る授業を越谷特別支援学校中学部の先生たちとともに授業づくりを行なっていきます。

3回目となる今回は、宮古島の海上保安庁の職員の方とオンライン会議システムでつながり、海の安全・保全についてお話をいただきました。海上保安庁では、海難事故が発生した際の人命救助の他に日本周辺の海の治安確保や海洋環境保全など多岐にわたる業務をおこなっていることをお話してくださいました。また、巡視船での勤務についてお話をしてくださいました。

最後に、海上保安庁で使用している航空機に関する質問や業務に関すること、海上保安官の業務をしていてよかったことや辛かったことについて質問がされて、丁寧に回答していただきました。



参加した子どもからの声

普段話を聞くことができない海上保安庁の職員からの話はとても新鮮だったようで、生徒たちは、真剣に耳を傾けていました。今回のお話をとおして、海についてこれまでよりもより身近に感じる事ができたようです。

海・空・子どもプロジェクト実行委員会

【宮古島を知ろう4】を開催しました！

2024年6月27日(木) 【場所】埼玉県立越谷特別支援学校

イベント概要

・開催概要

宮古島に住んでいる人とオンライン会議システムを使ってつながり、宮古島の海に生息する危険生物やバリアフリーダイビングについて学ぶ。

・日程

2024年6月27日(木)

・開催場所

埼玉県立越谷特別支援学校（〒343-0003 埼玉県越谷市船渡 500）



・参加人数

18名

陸上とは異なる水の中の動き

越谷特別支援学校の子どもたちは、肢体に不自由があることで、行動に制限があります。昨年度、越谷特別支援学校中学部では、沖縄県の文化などについて調べ、文化祭で発表を行いました。今年度は、沖縄県の離島の一つである宮古島を巡るコースをつくるとともに、バリアフリーについて提案を行います。本実行委員会では、コースを巡る授業を越谷特別支援学校中学部の先生たちとともに授業づくりを行なっていきます。

4回目となる今回は、宮古島でダイビングショップを営んでいる鹿島将氏にバリアフリーダイビングと海に生息している危険生物についてお話をいただきました。バリアフリーダイビングのお話では、耳が聞こえない人でも水中でコミュニケーションをとることができることや、陸上では、車椅子で生活をしている人でも、水中では浮力がはたらくため、自由に動くことができることをお話していただきました。また、実際のバリアフリーダイビングで使用している機材を紹介していただきました。宮古島に生息する危険生物のお話では、カイカムリ、カミソリウオなど、ウミウシ、イソギンチャクなど写真で紹介していただきました。



生徒からは、足を動かすことができない人は、どのようにダイビングをするのか、宮古島に生息する魚の種類、これまでダイビングをしていて危険を感じたことなど海の中に関する様々な質問があり、鹿島氏は一つ一つ丁寧にご回答いただきました。

参加した子どもからの声

陸上と違う海の中に関するお話や端末に映し出される様々な生物は、生徒たちにとってとても新鮮なものだったようです。鹿島氏から出された問題にも積極的に参加をしていました。

【バリアフリーを目指した宮古島を巡るコースを考える】を開催しました！

2024 年 7 月 1 日(月) 【場所】埼玉県立越谷特別支援学校

イベント概要

・開催概要

これまで学んできたことを振り返るとともに、バリアフリーを目指した宮古島を巡るコースの作り方について学ぶ

・日程

2024 年 7 月 1 日 (月)

・開催場所

埼玉県立越谷特別支援学校

(〒343-0003 埼玉県越谷市船渡 500)

・参加人数

18 名



自分と誰かのために宮古島を巡るコースを考える

越谷特別支援学校の子どもたちは、肢体に不自由があることで、行動に制限があります。昨年度、越谷特別支援学校中学部では、沖縄県の文化などについて調べ、文化祭で発表を行いました。今年度は、沖縄県の離島の一つである宮古島を巡るコースをつくるとともに、バリアフリーについて提案を行います。本実行委員会では、コースを巡る授業を越谷特別支援学校中学部の先生たちとともに授業づくりを行なっていきます。

今回は、これまで学習してきた宮古島について振り返りを行った後、自分を含めた誰かのためにコースの作り方やコース作りをする上で必要な情報の集め方などの話がありました。生徒たちは、次のことを意識しながらコース作りを始めました。

- ・コースを巡る時間は、9 時半から 15 時半
- ・誰のために考えたコースなのか。
- ・コースの見どころや魅力を具体的に紹介すること。
- ・場所や活動を選ぶだけでなく、バリアフリー化されているところや使いづらいところをあげ、バリアフリー化した方がいいところやその理由をまとめること。

生徒たちは訪れたことのない宮古島に想いを馳せながら、先生から配られた宮古島の地図やインターネットなどを駆使して、コース作りを行いました。作成をしているコースは、夏休みの宿題として取り組み、夏休み明けに発表を行います。

参加した子どもからの声

生徒たちは、これまで学んできたことを思い出したり、友達や先生と相談をしたりしながら、楽しく取り組んでいました。



海・空・子どもプロジェクト実行委員会

【空のバリアフリー】を開催しました！
2024 年 7 月 8 日(月) 【場所】 埼玉県立越谷特別支援学校

イベント概要

- ・ 開催概要 飛行機の乗り方や空のバリアフリーを学ぶ

- ・ 日程

2024 年 7 月 8 日 (月)

- ・ 開催場所

埼玉県立越谷特別支援学校（〒343-0003 埼玉県越谷市船渡 500）

- ・ 参加人数

18 名



飛行機とバリアフリー

越谷特別支援学校の子どもたちは、肢体に不自由があることで、行動に制限があります。昨年度、越谷特別支援学校中学部では、沖縄県の文化などについて調べ、文化祭で発表を行いました。今年度は、沖縄県の離島の一つである宮古島を巡るコースをつくるとともに、バリアフリーについて提案を行います。本実行委員会では、コースを巡る授業を越谷特別支援学校中学部の先生たちとともに授業づくりを行なっていきます。

1学期の総合的な学習の時間での授業は今回が最後になりました。今回は、飛行機のバリアフリーや乗り方について、スカイマーク株式会社から浅香恵子氏からお話をいただきました。浅香氏は、飛行機内で実際に客室乗務員の方が着用しようされている制服で登場をいただき生徒たちはいつもより興味津々でした。飛行機の乗り方だけではなく、飛行機の構造や飛行機を飛ばす上で必要な仕事など、飛行機に関わる様々なことについて、説明をしていただきました。また、生徒がのっている車椅子が飛行機に搭乗できるかまで見ていただきました。



参加した子どもからの声

これまでオンライン会議システムを使ってお話をいただくことがほとんどだったため、実際に来校していただいた上でお話を聞かせていただきました。生徒たちは、これまでのオンラインとはまた違った目の輝きを放っていました。

【生徒が考えた探究コースの発表】を開催しました！

2024 年 9 月 3 日(火) 【場所】埼玉県立越谷特別支援学校

イベント概要

・開催概要

1 学期に学んだ宮古島を教材として、生徒が個人で考えたバリアフリーを目指した探究コースの発表を行う。

・日程

2024 年 9 月 3 日 (火)

・開催場所

埼玉県立越谷特別支援学校

(〒343-0003 埼玉県越谷市船渡 500)

・参加人数

18 名



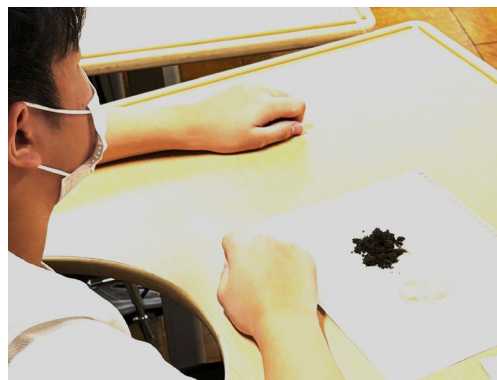
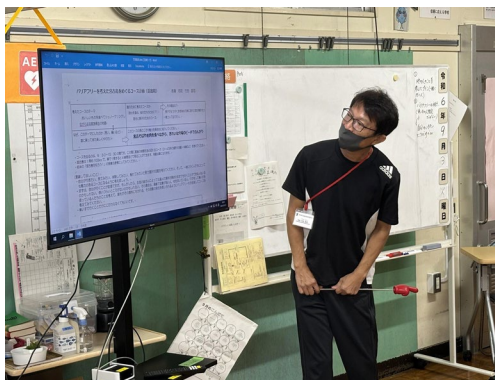
バリアフリーを目指した宮古島を巡る探究コース発表

生徒たちは、1 学期の授業で、宮古島の文化・歴史・思想、島の中のバリアフリーなど様々なことを学びました。そのことを踏まえ、夏休みの課題としてバリアフリーを目指した宮古島を巡る探究コースを個人で作成しました。越谷特別支援学校の生徒は、移動に支障があり、動きに制限を持った生徒が多く在籍しております。

今回のコース作りでは、ただ 1 日を使って宮古島島内を巡るコースを考えるのではなく、自分を含む誰かのためにコースを考えました。また、コースを考える際には、現状のままでは車椅子などではいくことができない場所があった場合には、改善案も提案してもらいました。

生徒全員からの発表を通して、夏休みの間を使い、思いのこもったコース発表が行われました。また、発表は、先生たちも考えたコースの発表がされました。

発表の後には、宮古島の貝殻や砂を実際に触ってみたり、白砂糖といくつかの黒糖の味の比べを行ったりしました。特に、黒糖の味比べでは、味の違いについて思考を巡らせていました。



参加した生徒・先生たちの声

生徒の発表では、夏休み中に十分に考えられたコースを他の人へ発表することができ、とても満足している様子でした。先生たちの発表では、生徒たちの反応がとても良かったです。先生たちからも夏休み前から比べて、生徒たちの成長を実感することができたという意見をいただくことができました。

黒糖の味比べでは、同じ黒糖でも産地によって微妙に味が異なることに生徒がちは感動していました。

海・空・子どもプロジェクト実行委員会

【グループでの探究コースづくり】を開催しました！

2024 年 9 月 9 日(月) 【場所】埼玉県立越谷特別支援学校

イベント概要

・開催概要

小グループでのバリアフリーを目指した探究コースづくりを行う。

・日程

2024 年 9 月 9 日 (月)

・開催場所

埼玉県立越谷特別支援学校（〒343-0003 埼玉県越谷市船渡 500）

・参加人数 18 名



グループでのバリアフリーを目指した宮古島を巡る探究コースづくり

2学期最初の授業では、生徒個人が夏休みの間に考えたバリアフリーを目指した探究コースづくりを行いました。今回は、小グループでのコース作りを行いました。学年を横断して編成されたグループでは、グループのメンバーが協力して、誰のためのコースなのか。また、なぜそのテーマにするのかを話し合いながら考えていました。この時間だけではコースは完成しなかったため、この後は、別の日を使ってコース作りが行われます。完成したコースは、実行委員のメンバーがまわるとともに、生徒たちは文化祭で発表を行う予定です。



参加した生徒の声

「みんなで協力して考えることができよかった」というグループ内の他のメンバーと協力したことで満足を得られたという回答も見られました。

海上保安庁巡視船上から海の安全と保全を学ぶライブ授業を開催しました！

2024 年 10 月 18 日(金)

【場所】 埼玉県立越谷特別支援学校・宮古島海上保安庁

海・空・子どもプロジェクト実行委員会は、埼玉県立越谷特別支援学校 中学部（肢体不自由の特別支援学校）と「総合的な学習の時間」での海と空をテーマに協働で授業を行っており、その一環として、2024 年 10 月 18 日（金）に海の安全や保全を学ぶことを目的として、海上保安庁巡視船と埼玉県立越谷特別支援学校中学部をオンライン会議システムを使ったライブ授業を開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。

イベント概要

開催概要

- ・ 日程 2024 年 10 月 18 日
 (金)
- ・ 開催場所 埼玉県立越谷特別支援学
校、宮古島海上本部巡視船 のぼる
- ・ 参加人数 12 名
- ・ 協力 海上保安庁第十一管区海
上保安本部宮古島海上保安部



巡視船「のぼる」と越谷特別支援学校を結んで海の安全・保全について学ぶ

海・空・子どもプロジェクト実行委員会では、埼玉県立越谷特別支援学校と協働で、「総合的な学習の時間」の授業をつくっております。今回は、その一環として。生徒から預かったぬいぐるみが巡視船「のぼる」に乗船するとともに、学校と巡視船をオンライン会議システムを使って結び、海上保安官から海の安全・保全について学ぶ授業を実施しました。

授業では、巡視船内の設備の説明や、仕事内容についての説明を行いました。また、放水銃をつかった訓練を見せていただくこともできました。生徒からは、乗組員になって大変だったことや仕事での思い出などの質問が寄せられ、海上保安官の方は丁寧に回答してくださいました。



参加した生徒などからの声

放水銃の訓練では、教室にいた生徒たちから多くの歓声があがりました。

授業に参加した生徒からは、普段は学ぶことができない貴重な体験ができたという声が多く聞かれました。

ライブ授業に協力をしてくださった海上保安官の方からは、普段交流をすることができない子どもたちと話すことができ、勉強になり、元気をもらうことができたとお話してくださいました。

海・空・子どもプロジェクト実行委員会

宮古島市立平良中学校との学習交流会を開催しました！

2024年11月19日(火) 【場所】埼玉県立越谷特別支援学校・宮古島市立平良中学校

イベント概要

開催概要

- ・日 程
2024年11月19日(火)
- ・開催場所
埼玉県立越谷特別支援学校、
宮古島市立平良中学校
- ・参加人数 45人



越谷と宮古島、互いの教室から ZOOM で学習交流

海・空・子どもプロジェクト実行委員会では、埼玉県立越谷特別支援学校と協働で、「総合的な学習の時間」の授業をつくってきました。今回はその一環として、学習成果の交流を行いました。

総合的な学習の時間にて、越谷特別支援学校の生徒は、バリアフリーを考えた宮古島をめぐるコースをグループごとに探究してきました。調べたり聞いたりしながら思いを巡らせ作成したコースを、地元宮古島の中学生に発表しました。また宮古島の生徒は、職場体験学習を通して学んだことを越谷の生徒に紹介しました。越谷の生徒は職場体験学習自体が身近ではなく、宮古島の生徒にとっては毎日目にしている場所でありながら新たな視点での紹介であり、互いに気づきや学びの表情を浮かべながら聴き合っていました。



参加した子ども・保護者からの声

宮古島の生徒は、越谷の生徒の「実際海には行ったことがない」という声に驚きの表情を浮かべていました。しかし、毎日見慣れている海や観光施設について、越谷の生徒からバリアフリーの視点で述べられた考察を聞き、息をのんでいました。自分たちの中になかった見方を紹介され、地元に対する感覚が変わった、本当の意味でのバリアフリーを考えるようになったという感想が聞かれました。

また越谷の生徒は、職場体験学習という学習自体を初めて身近に感じ、実際にできるかできないかということよりも、“働く”ということの意義や大変さ、“生きるうえで世話になっている方々”への感謝や“生きていくために必要なコミュニケーション”など、自分たちの生活に重ねて学びを深めている感想が聞かれました。

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。